

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所「にんぐる」		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・北見市に児童発達支援事業所が少ない為、利用したいのにできない人たちの受け皿になる事ができる。	・未就学児を多く利用されている、相談支援事業所と連絡を取り合い、困っている人がいないか確認を取っている。	
2	・北見市では祝日に開いている事業所が少ない為、利用したいのにできない人たちの受け皿になる事ができる。	・祝日が利用しやすいように、利用したい時間帯を保護者の方から確認しそれに出来るだけ沿った形での利用を可能としている。	
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用人数に対して、送迎などに出してしまった時、人数が不足している。	・人員の不足	・ハローワークやSNS等を使い人員の募集を行っていく。
2	・職員間で利用者の方に対しての情報の理解に差が出ている。	・会議や支援前の情報共有が不足しているため。	・会議や情報共有する機会を多くしていく。また、個別だけではなく、支援方法に関してのスキルアップもする機会を作るために研修等の参加も積極的に行ってもらうように促していく。
3			